



リニューアル版 ラップニュース

VOL.219

2021.6.1

発行：ラップ東京株式会社

<https://www.raptokyo.co.jp/>

(無断転載厳禁)

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「ヒントを探して」

コロナ禍でお客様や会いたい人に会えない日々が続いています。気づけば、もう一年もこんな感じですよ。そして、ラップニュースの根本である「ヒントはお客様が与えてくれる」が充分に実践できずにいます。

町歩きをしながら名所や名物を紹介するテレビ番組などをみると、20××年撮影、なんて小さく書いてあったりします。なるほど、誰もマスクをしていないわけだ…。たった数年前なのに何だか懐かしいような気持ちになり、あのころは良かった、と言っただけなのではないかと思いつつ、そんな言葉も出てしまいます。

以前は、お客様に会って話をするといろいろなお話を伺えました。仕事の打合せは終了しているけれど、その後の雑談でお客様がこぼす言葉に反応していたものです。

さっきの話、本当はこういう風にしたいのだけれど。新しい人を採用したいけど、なかなか応募がないよね。

この間の会合で、SDGsが話題になっていたよ。

最近、こういうお客さん多くてさ etc…。

ちよつとした話の中にお客様の裏のニーズや悩み、お客様自身も気づいていないことがあったりしました。

最近、そのような機会が減り、連絡はメールや電話。打ち合わせはzoomなどのオンライン、それでも充分なのですよ。やはり、大半は要点のみとなり、仕事を進めていく上で、少々、不安になることがあります。こんな状況が1年も続いていると、先ほどのように以前はいろいろな話しが聞けなかったなあと思ってしまうわけです。

そこで、自分なりに今の状況に甘んじず、何をするべきかを考えてみました。まず、今を充電期間とする。といつても、何もしないでじっとしているわけではありません。外出できない時間をじっくりと腰を据えて考える時間にする、というものです。新規既存のお客様問わず、新サービスを考えたたり、改善できそうなことはないか見回してみたり、顧客獲得のための「種まき」についても考える。実際、いま着手できているのは、一部ですが、まだもう少し、できそうです。

次に裏方でできることを考える。いま準備できること、いまやれることをやる。皆さんも業種や提供しているサービスは違いますが、このように考えて様々な活動をしていると思います。そのような行動が正解かどうかは、もう少し、世間が落ち着いたらわかりそうです。

コロナ禍で、物質的な価値の重視から精神的な価値観を重視する人が増えてきているといえます。コロナ禍が過ぎ去ったとしても、「普通に暮らせる幸せ」を感じ、人とのつながりを貴重にする人が今まで以上に多くなるとか。直にお会いすると大変な思いをすることもありますが、お客様とのつながりの大切さを再認識しています。

ご案内

簡単更新くん

それほど高機能ではなく、更新したいページを簡単に更新できる「簡単更新くん®」

簡単らいんちゃん

つながりたいをサポートする「簡単らいんちゃん」(まもなくオープン)

【この件に関する問い合わせ】
ラップ東京株式会社 (担当：田島)
TEL: 042-349-3535

